

もくじ

- ・ セロひきのゴーシュ

セロひきの
ゴーシュ

げんさく： みやざわ けんじ

イラスト： キタマキ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

3

ゴーシュは、まちの おんがくだんで
セロ（チェロ）という がっきを
たんとうしていました。

しかし、ゴーシュの セロのうでは いまいちで、
みんなで れんしゅうを しているときは、
いつも だんちょうに さらわれていました。

ゴーシュは それが、くやしくて くやしくて、
れんしゅうが おわって
いえに かえってからも、
まいにち よるおそくまで、
ひとりで セロをひいていました。

そのひも、ゴーシュは よなかまで いえで
セロの れんしゅうをしていました。

「ふう、もう こんなじかんか。
そろそろ ねないとな」

と、そのとき。
だれかが そとから、いえのドアを
とんとんと たたきました。



5

そこにいたのは、おおきな ねこでした。

「こんばんは、ゴーシュさん。
あなたのセロを ききにきました。
さっそく ひいてごらん下さい。
ああ、これは おみやげです」

ねこは かごに はいった、
まだあおい トマトをさしだしました。

(なんてなまいきな ねこだ！
それに そのトマトは、
うちのはたけのやつじゃないか。
よ～し、みてるよ・・・)

「いいだろう、セロをひいてあげよう。
そこに すわりたまえ、ねこくん」

ゴーシュは セロをかまえました。

